

【特許請求の範囲】

【請求項1】 靴を履む位置にはエアパイプのエア吹き出し口が配設されるとともに、前記エアパイプのエア吸い込み口にはイオン及びオゾンを含む風を発生させるオゾン発生器が設けられていることを特徴とする靴の消臭装置。

【請求項2】 前記オゾン発生器は筒状電極とこの筒状電極の一方の開口部の外側付近に配置された針状電極とにより形成され、前記電極間に高電圧を印加することで筒状電圧内が帯電してクーロン力とコロナ放電による放電エネルギーとによって発生するイオン及びオゾンを含む風を前記筒状電極の他方の開口部から吹き出すように形成されたことを特徴とする請求項1記載の靴の消臭装置。

【請求項3】 前記オゾン発生器によって発生されたイオン及びオゾンを含む風をファンによって強制的にエアパイプのエア吹き出し口から吹き出すように形成されたことを特徴とする請求項1又は2記載の靴の消臭装置。

【請求項4】 前記エアパイプのエア吹き出し口が上下動可能に設けられたことを特徴とする請求項1又は3記載の靴の消臭装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は靴の消臭装置、詳しくは蒸れ等による靴の嫌な臭いを消すことができるとともに、殺菌効果にも優れている靴の消臭装置に関する。

【0002】

【従来の技術】蒸れ等による靴の中の嫌な臭いは靴下に移り、靴を脱いだときや座敷に上がったとき等に周りの人を不愉快な気分させている。そこで、従来はこのような嫌な臭いを消す方法として、例えば靴の中に予め科学処理がなされた消臭効果を有する中敷きを入れておくようにしたり、或いは靴の中に消臭スプレーを噴霧するようにしたりすることが行われている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】然し乍ら、前者の靴の中に消臭効果を有する中敷きを入れてたものにあっては、一定の期間が過ぎると消臭効果がなくなり、その都度中敷きを取り替えなくてはならないために不経済であり、後者の靴の中に消臭スプレーを噴霧するものにあっては中身がなくなったら前記同様に置き換えなくてはならないために不経済であるとともに、長い時間の消臭効果を期待することができない等の問題点があった。

【0004】本発明は上記問題点を解決し、特に蒸れ等による靴の中の嫌な臭いを確実に取り除くことができるとともに、殺菌効果にも優れている靴の消臭装置を提案することをその課題とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するため

の手段として、本発明に係る靴の消臭装置は、靴を履む位置にはエアパイプのエア吹き出し口が配設されるとともに、前記エアパイプのエア吸い込み口にはイオン及びオゾンを含む風を発生させるオゾン発生器が設けられていることを特徴とする。

【0006】前記オゾン発生器は筒状電極とこの筒状電極の一方の開口部の外側付近に配置された針状電極とにより形成され、前記電極間に高電圧を印加することで筒状電圧内が帯電してクーロン力とコロナ放電による放電エネルギーとによって発生するイオン及びオゾンを含む風を前記筒状電極の他方の開口部から吹き出すように形成されたものであってもよい。

【0007】前記オゾン発生器によって発生されたイオン及びオゾンを含む風をファンによって強制的にエアパイプのエア吹き出し口から吹き出させるように形成されたものであってもよい。

【0008】前記エアパイプのエア吹き出し口が上下動可能に設けられたものであってもよい。

【0009】

【発明の実施の形態】以下、図面によって本発明の実施の形態の一例について説明する。

【0010】図1において、符号1は本発明に係る靴の消臭装置を示し、この靴の消臭装置1は靴2を載置する載置台3とエアパイプ4とオゾン発生器5とによって主に構成されている。

【0011】載置台3は側面視台形状を有する中空で長尺の基部材3aとこの基部材3aの上部中央に立設された中空の壁部材3bとによって形成されている。そして、前記基部材3aの側面にはその内部と外部とを連通する通気孔6が穿設され、また、前記壁部材3bの前面上には靴2を載置する三つの載置板7が所定間隔を置いて設けられている。

【0012】エアパイプ4は図2に示すように正面視L字状を有するとともに載置台3内に配置され、その一端は前記載置台3を形成する基部材3a内の中央付近に、他端は壁部材3b内の一側寄りの上部にそれぞれ位置されている。

【0013】壁部材3b内の一側寄りに位置されたエアパイプ4には水平方向に配置された三つの可動エアパイプ4aが連結部8を介して所定間隔に設けられるとともに、前記各可動エアパイプ4aにはL字状を有するパイプからなる多数のエア吹き出し口9が取り付けられている。

【0014】各可動エアパイプ4aに設けられた多数のエア吹き出し口9は、この各可動エアパイプ4aの後端に設けた把手11を上下動させることで可動エアパイプ4aの回動とともに上下動させることができる。

【0015】エア吹き出し口9の先端は載置台3の壁部材3bの前面水平方向に並設された縦長の長孔12か

【００３１】さらにまた、請求項４の発明によれば、エアパイプのエア吹き出し口が上下動可能に設けられ

たものであるから、前記エア吹き出し口を動作させることによって靴の配置が楽に行える。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る靴の消臭装置の斜視図

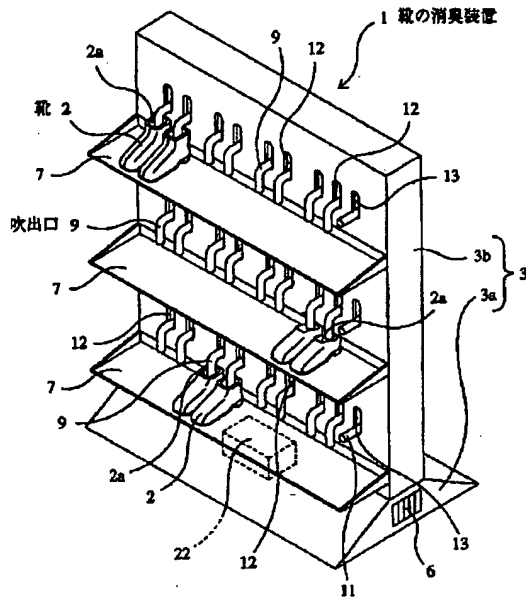
【図2】前記靴の消臭装置の内部構造を示す説明図

【図3】オゾン発生器の縦断面図

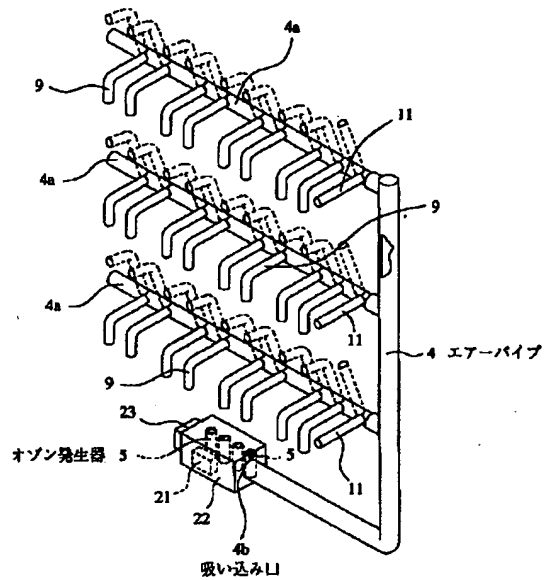
【符号の説明】

- 1 靴の消臭装置
- 2 靴
- 4 エアパイプ
- 4a 吸い込み口
- 5 オゾン発生器
- 9 吹き出し口

【図1】



【図2】



【図3】

